

2022.10.16. 戦いに疲れた者への言葉

第一ペテロ 3章 18章～22章

JD ファラグ牧師

日曜日の朝は、「第一ペテロの手紙」を一節ずつ学んでいて主の御心なら、今日で3章を終える予定です。聖書箇所は18節から22節までです。可能なら、ここにおられる方はご起立ください。無理な方は、座ったままで結構です。私が読みますので、ついてきてください。

使徒パウロ・・・あ、、、パウロじゃない.....。この手紙を何度も読んだのに、やり直します。ー(笑)ー  
使徒ペテロは...ー(笑)ー 大変な週でしたからね。

ーI ペテロ 3:18ー

キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。正しい方が正しくない者たちの身代わりになられたのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

ーI ペテロ 3:19ー

その霊においてキリストは、捕らわれている霊たちのところに行って宣言されました。

ーI ペテロ 3:20ー

かつてノアの時代に、箱舟が造られていた間、神が忍耐して待っておられたときに従わなかった霊たちです。その箱舟に入ったわずかの人たち、すなわち八人は、水を通して救われました。

ーI ペテロ 3:21ー

この水はまた、今あなたがたをイエス・キリストの復活を通して救うバプテスマの型なのです。バプテスマは肉の汚れを取り除くものではありません。それはむしろ、健全な良心が神に対して行う誓約です。

ーI ペテロ 3:22ー

イエス・キリストは天に上り、神の右におられます。御使いたちも、もろもろの権威と権力も、この方に服従しているのです。

これはもう説明無用ですね？ 私たち、締めくくります？ー(笑)ー 祈りましょう。

主よ～主よ、あなたの御言葉はまさに、いのちに溢れ、力強く、生きていて、両刃の剣のようです。

主よ、私たちの人生には、その外科的鋭い剣の手術が必要です。

主よ、今日、私たちに与えられた御言葉を感謝します。

主よ今、聖霊によって私たちの思考を静め、心を落ち着かせ、意識を集中させる必要があります。なぜならこの箇所には理由があって、今日、あなたが、私たちに見せようとされているものを見逃したくありません。ですから主よ、あなただけが御出来になられる通りいつものご忠実な聖霊の静かな小さな御声を、期待しています。

主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いております。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ありがとうございます。ご着席ください。では今日は「疲れ」について、話したいと思います。具体的には、

「なぜ疲れを持ってイエスのもとへ来る事が、疲れを癒す唯一の答えで方法なのか」についてお話ししたいと思います。理解するのが重要なのは、おそらく毎週、このことに触れてますので、飽き飽きされなないのをお願いします、ペテロは、聖霊によって、真に苦しみ、厳しい苦しみの中にいる信者に、この手紙を

書いています。彼らは戦いに疲れ、あらゆる方面から攻撃され、恐ろしい、考えられない方法で迫害されていました。そこで神は、ペテロにこの手紙を書かせられ、彼らを励まそうとされたのです。そうすることで、疲れたクリスチャンを一刻も早くイエスのもとに連れて行こうとしておられます。それは良いことです。「イエスのもとに行きなさい。」どうして？ なぜなら、イエスが唯一、私たちの疲れを癒やせるお方だからです。先週の木曜日「エレミヤ書」の節ごとの学び、一私はエレミヤ書が大好きですよー神は、預言者エレミヤに、イスラエルの民に対し、こういう希望と励ましを与えさせられました。すぐ後ろからバビロンが迫ってきていて、自分たちが捕虜になることは、はっきり分かっています。今が最も暗い時、ギリギリの時と言えます。その時、神はエレミヤにこの預言を書き留めさせられました。彼らを励まし、希望を与えるための預言でした。(エレミア書) 29章 11節は、多くの人にとって、人生の聖句です。私たちは、それをよく知っています。その御言葉が好きで、引用し、暗記します。

ーエレミヤ 29：11ー

「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

神は、この希望とこの先の未来を与えようとされました。この患難、捕囚を用いられ回復させ、さらには、救いをもたらそうとしていると。しかし、(エレミア書) 31章 25節に行くと、神は、彼らを励ますために、エレミヤにこう書かせてます。

ーエレミア 31：25ー

「わたしが疲れたたましいを潤し、... (あ～さらに良くなりますよ) ...すべてのしぼんだたましいを満ち足らせるからだ。」

お～、私には、この励ましを聞く必要があります。私は必死に持ちこたえています。今まさに、必死で自分の人生に持ちこたえているからです。私はこれを知る必要があります。神は、私の疲れた魂を満たし、私の疲れを癒してください。悲しみに落ち込んだ私の魂を、回復させてくださいます。これがイエスが仰ったように聞こえるなら、その通りだからです。嫌味のつもりはありませんが、皆さんこれはよく知っていますよね？「マタイの福音書 11章 28節」から、イエスが話しておられます。

ーマタイ 11：28ー

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

ーマタイ 11：29ー

わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

イエスは再び仰います。

ーマタイ 11：30ー

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

私たちの文化、今の時代には、このことを見失っていますよね。当時、畑を耕す作業のため、2匹の家畜をくくりつけていました。もし、くびきが平等でなければ、重荷が弱いほうにかかり死んでしまいます。

イエスはここで仰います。

「わたしのくびきは負いやすい、わたしがすべての働きをします。あなたはただ、わたしの中で休んでいればいいのです。あなたは重荷を背負っていますか？ わたしのもとに来なさい。あなたは疲れてい

ますか？（JD 牧師挙手中）わたしのもとに来なさい。わたしがあなたの疲れた魂を満たします。休ませてあげます。わたしの荷は軽いからです。わたしのくびきは、負いやすいのです。」

主のくびきは負いやすいので、過酷な歩みが私に課せられない時、私はいつも主であることを知ります。私はいつもそれが主であることを知ります。

ヨハネが「神の命令は重荷とはなりません。」（I ヨハネ 5：3）と言っているからです。

もしそれが重荷で、過酷な歩みで、誰かが私の上に何かを置き、それが私を押し潰すものなら、それは主からではありません。なぜ分かるのでしょうか？ 主のくびきは負いやすく、主の荷は軽いからです。

次に進む前にもう一つ、3つの単語です。これは、当たり前のことのように思われますが、悲しいかな、そうではありません。"Come to Me."（3語）（わたしのもとに来なさい。）強調されているのは、"Me/わたしのもとに" です。つまり、「疲れているのですか？わたしのもとに来なさい。」

いや、あなたは他のところへ行く。それから逃れようと、ボトルや酒や薬に向かう。

「そうでなく、わたしのもとに来なさい。わたしのもとに来なさい。」それらで、一時的な安心を得られるかもしれませんが。実際、ボトルにはそう書いてあります。お気づきですか？ 一時的な安心感。マジですか？ 私は永続する安心が欲しい。一時的なら、そのうち消えてしまうから。そして実は、これが問題で、細則文字で書かれています。実は、効き目が切れるともっとひどくなります。実際、私たちがやっていることは、あちこち走り回り、どこにでも、誰のもとにでも行ってしまふ。しかし、私たちの必要を満たせられるのは、このお方だけです。私たちは空っぽなら、空っぽを満たそうとします。それが切れると、それが何であれ、満たそうとしたときよりも、実際にはもっと空っぽになっていることに気づきます。私たちは、面白がったり、楽しんだりできます。でも、終わってみれば、ただ空しさだけが残ります。そこにイエスがおられ両手を広げ、待ってらっしゃいます。

「ただ、わたしのところへ来なさい。あなたに必要なものは全てわたしのところにあります。」

**「求めても得られないのは、あなたがたが求めないからです。」（ヤコブ 4：3）**

「ただ、わたしのもとに来なさい。わたしのもとに来なさい。」こんな風に始めたのは理由があります。というのも、一緒に考えて欲しいのですが、私たちは、ペテロのような人物の場合、よくこのことを見逃してしまうからです。知るべきは、ペテロは3年余り、イエスの近くで、共に歩んでいたことです。ペテロは何度、疲れ果てて、イエスのもとに行ったことでしょう。何度もあったと思います。ですから彼は、身をもって知っていたのです。このような理由から、ペテロは、聖霊に触発されて、この言葉を書き記したのだと思います。彼は身をもって知っていたのです。

「あなたがたは疲れて落胆し、落ち込んでいる。その落胆が絶望に向かわせている。あなたがたを、一刻も早くイエスのもとに連れて行きたい。」

それが私がしたことです。私たちは、ミニストリーの最前線で、困難な日々がありましたね。ええ、奇跡もありました。でも、ほう～！！ よく頑張りました。怖い思いをしたこともありました。2万人の人が腹を空かせていて、食べ物なかった時のことは忘れられないとペテロは言うでしょう。で、私たちはどうしたか？ イエスが仰いました。

「そこに、母親が作ってくれた弁当を持った少年がいます。その子に、弁当を分けてくれるよう、頼んでみたらどうですか。」あなたがたは「マジ？」で、そうしました。そして、わお～～！「神がなさったことを見なさい。」（以上 ヨハネ 6章参照）

知っておいてください。使徒ペテロは、今日の御言葉箇所です。語られることを、話す資格を得た人だったの

を。ペテロは私たちに、なぜ疲れてイエスのもとに来ることが、それを癒す唯一の方法であるのか、その理由を説明しようとしています。その最初の理由が 18 節、

「イエスがすべてを、良い方向に働かせてくださる」

皆さんが、このことをご存知なのは分かっています。私たちは、よく話題にもします。でも私が興味深いと思うのは、ペテロがイエスの十字架刑、イエスの苦しみについて書き、

「そのキリストの十字架の苦しみにおいて、結果としてもたらされた善、すなわち、永遠のいのちを見なさい。」と（ペテロが）言う事です。何が言いたいのか、ペテロ？ どこへ導こうとしているのか、ペテロ？ そう、これが私の話の向かう先です。

ところで、私がペテロみたく話してるように聞こえたら、多分、そうでしょう。ペテロは言うでしょう。

「イエスの十字架と埋葬は悍ましいものでした。」ちなみに、彼はその場にいたのです。彼は、それを目の当たりにしました。実際ペテロは、空っぽの墓へも行きましたが、ヨハネに先を越されました。それは、ヨハネが、ペテロに勝った（ペテロより速かった）と記してあるので、それが分かります。（ヨハネ 20 章参照）

とにかく、あの 2 人の間には何かがあったのでしょうか、とても興味深い性格の持ち主です。ペテロは言います。「あれと同じくらい、悍ましい苦しみです。苦しみを受けている救い主、イエスが経験した苦しみ、それが何をもたらしたかを見なさい。それは、究極の苦しみと言えるもので、私たちのすべての罪を完全に贖うことを成し遂げられました。」

私たち、誰一人として、救い主の苦しみに匹敵するようなものを見つけるのは困難でしょう。イエスが十字架につけられたとき、その御姿は見分けがつかなかったと、歴史家は証言しています。イエスはひどく打ちたたれ、殴打されました。その苦しみ.....ですから、ペテロは言っています。

「あなたが苦しんでいるのは知っています。あなたが疲れているのは知っています。あなたが苦しんでいるのは知っています。あなたが落胆しているのは知っています。しかし、救い主の究極の苦しみが私たちに永遠のいのちをもたらしたのなら、主にできないことなどあるのでしょうか。」

ところで、今週木曜日の学びのネタがバレですが、「エレミヤ書 32 章」、「主にとって不可能なことなどありますか？」これは修辭的な質問ですよ。私たちは既にその答えを知っています。とても興味深いことです。ちょっとだけ、ご辛抱ください。木曜日が待ち遠しいです。私はエレミヤが大好きです。本当に本当に。私は大変戒められています。皆さん方は違うでしょうが、私は非常に「エレミヤ書」で教えられています。これってマズいんです？ ちょっと意地悪でしたね。言いに来てくださっても良いですよ。構いません。エレミヤは祈りながらこう言いました。

**「主よ、あなたにとって不可能なことは一つもありません。」 (32:17)**

神は、エレミヤの祈りを切り替えて答えておられます。神はエレミヤに仰います。

**「わたしにとって不可能な事が一つでもあろうか。」 (32:27)**

「お～あなたがしておられることがわかりました。それは良い事ですね。」回答は、「いいえ。」

簡単に言えば、つまり、私はテストが苦手だったんです。でも、その問題がテストに出れば、正解したでしょうね。ノー。選択方式回答さえ必要ありません。答えが選択方式のほうがよかったですよ。少なくともチャンスがありますから。いいえ、これは選択方式回答ではありません。筆記する必要があります。私は書きます。「ノー、ノー、ノー、ノー、ノー。！、！、！（びっくりマーク）」それが無限に続く。それが私の答えです。それが正しい回答です。

「では牧師さん、なぜそんな話に？」「ローマ人への手紙8章」故です。17節から読みます。

—ローマ 8:17—

子どもであるなら、相続人でもあります。私たちはキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているのですから神の相続人であり、キリストとともに共同相続人なのです。

そして、18節でこう言います。「私は考えます。」翻訳によっては "I reckon" と表現しているものもありますが、それってテキサス方言版です。私は和解した、私は考慮した、私はその問題を解決した。

—ローマ 8:18—

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。

わお～ これで少し私を安定させます。いや、かなりですね。うん、私は苦しいけど...そんなの取るに足らない。同じレベルでもない！！ 近い話でもない！！ あなたは70年、80年、あるいは、もっと生きるかもしれない。そのあなたの人生のほとんどは、苦しみ、痛み、試練や困難ばかりです。あなたは、苦しみと不幸の人生と、永遠の栄光の人生とを比べたいの？そこには、悲しみもなく、痛みもなく、夜もありません。(黙示録 21 参照) —私はこちらを頂きます— これから説明しますが、もう死もありません。もうゴキブリもいません。それだけでも...—(笑)— 言い続けていますが、天国には、ゴキブリはいないと確信しています。

「ローマ人への手紙8章の28節」へ行っていいですか？ さあこの聖句は、皆さんよく知っていますよね。私たちはよくここを引用します。私たちはつま先から全身でガッツリやりますよ。

—ローマ 8:28—

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、"すべてのことが"ともに働いて益となることを、私たちは知っています。

私たちは、ここで止めてしまいます。28節で止めてしまうと、大きな間違いを犯すと思います。続けましょう。

—ローマ 8:29—

神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。

ちなみにこれが目的です。だからあなたは苦しんでいるのです。なぜなら、神の目的は、あなたを、よりイエスに似せられることだからです。御子の似姿に、あなたを変えるためです。もし私が間違っていなければ、皆さん私同様なら、そうだと思いますが、

「神様、私をもっとイエスのようにしてください。」と祈ったはずですが。それに対して、私たちを担当する御使いたちはこう言います。「本当にそう祈りますか？」「あなたは、自分が何を求めているか分かっていません。待って、今.....今、もっとイエスのようになりたいと言った？ 本気？ OK。ゲーム開始です！！ ゲームオン。」30節です。

—ローマ 8:30—

神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。

—ローマ 8:31—

ではこれらのことについて、どのように言えるでしょうか。...

今、私たちが読んだばかりですね。ですから、続けて読まねばなりません。

...神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

お～私たちはここが大好きです。よく引用しますよね。自宅のトイレにも飾ってますよ。いや、事実そうなんです。私たち家族はとても霊的なので... でも 32 節に注目してほしいのです。ここが全ポイントです。注意して聞いてください。

—ローマ 8:32—

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。

分かりましたか？ 今聞いたことの意味が分かります？ OK。お付き合いください。言い換えれば、あなたは今、本当に大変な思いをしています。約束の御言葉は分かっている、それらをすべて聞いたでしょう。あなたが苦勞し、試練を受けていること、苦しんでいることを知る、キリストにある大切な兄弟姉妹たちが、あなたのところにやってきて、ローマ人への手紙 8 章 28 節を引用する。あたかも、あなたが、その聖句を知らないかのように。「その節、知ってるって！！ あなたが言うのは簡単じゃん。あなたは、すべてが、素晴らしくうまくいっているようだね。で、私のところに来て、ローマ人への手紙 8 章 28 節を告げる？」

とにかく、もう十分ですね...それなら、主のところへ行った方がいい。しかし、32 節、私はそれを経験しています。苦しみ、落胆し、疲れ果てている。私は打ちのめされている。私は打ちひしがれている。

でも、ちょっと待ってください。もし神が、ひとり子を惜しむことなく、進んであなたのために死なせたとすれば、考えてみて下さい。神がして下さらないことがあるのでしょうか。あなたの問題は何でしたっけ？ ちょっと待って。これを整理してみましよう。嫌味に聞こえるかもしれませんが、お許してください。聖化された嫌味ですからね。しかし、何か腑に落ちないことがありますか？ 神は、私たちが愛するがゆえに、ご自分のひとり子を私たちにお与えになりました。その御子イエスが、私たちのために死んでくださったのです。神は、そのひとり子さえも惜しまれませんでした。もし神が、そのひとり子を、誰もが経験したことのない、比類ない苦しみにさらすことを厭われないなら、神が、あなたのためにされないことが何かあるのでしょうか？ つまり、私たちは、永遠のいのちを下さる神は信頼するのに、今月の家賃のためにはその神を信頼できないのですか？ 理に適いますか？ 皆さん、もっと良い例えあったら教えてください。何度も言いますが、私はいつもオープンに歓迎します。ここでペテロが言っているのは、そういうことです。キリストの苦しみのゆえです。その苦しみの分かち合いです。もし神が、その苦しみから永遠の善を引き出すことができ、その苦しみから御子を惜しむことなく、喜んであなたのために、苦しむイエスを与えてくださるとしたら、そう！人生は上手くいっています。主が、私のためにされないことは何もないのですから。神は、ご自分のひとり子さえ惜しまれないのに、私に何を惜まれますか？ それだけでなく、もし神が、それを良い方向に働かせてくださるなら、私のちっちゃいちっちゃい問題、つまり、苦しみ、もがき、なんて、、、

「わたしは、十字架につけられた息子を死からよみがえらせたのだ。わたしに任せなさい。簡単なことです。なんなら目隠しして、手を縛ってもいいですよ。わたしが言葉を発するだけで、それが実現します。わたしはできます。神に不可能なことが何かありますか？」

では、2 つ目ですが、前置きが必要です。理由は、もし、私たちを押し潰し、疲れさせるものが何かあるとすれば、それは罪の束縛に他なりません。だからこそ、ペテロは、19 節と 20 節の最初の部分で、こう言っているのです。非常に興味深いです。イエスが、よみに下られた時の記述を引用しているのです。

ここで疑問が生じます。疑問とは、イエスはよみで何をされたのか、です。答えは、イエスはまず、悪魔と死に対する勝利を宣言し、宣べ伝えられました。そして次に、イエスは「私たちを束縛から、パラダイスへと解放された」これはちょっと分かり難いですが、使徒パウロが助けてくれます。今日の説教には、パウロが絡んでくると言ったでしょ？ 彼は、「エペソ人への手紙」で、このことに光を当てています。4章7節からです。

—エペソ 4:7—

しかし、私たちは一人ひとり、キリストの賜物の量りにしたがって恵みを与えられました。

—エペソ 4:8—

そのため、こう言われています。「彼はいと高き所に上ったとき、捕虜を連れて行き、人々に贈り物を与えられた。」

—エペソ 4:9—

「上った」ということは、彼が低い所、つまり地上に降られたということではなくて何でしょうか。

—エペソ 4:10—

この降られた方ご自身は、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方でもあります。

OK。ここでもう1つ疑問です。この場所はどこか？ この場所には、誰がいたのでしょうか？ なぜイエスはこの場所に行き、この場所に降りられたのでしょうか？ 御言葉が私たちにももちろん、答えてくれます。「ルカの福音書の16章」19節から31節に、ある金持ちとラザロという乞食のことが書かれています。この2人が、イエスの降りられた場所にいます。ギリシャ語でハデス、ヘブライ語でシェオルと呼ぶ場所です。しかし、裂け目、区別がありました。一方はパラダイスで、他方は、十字架上の犯罪者がイエスに言ったのはこのためです。

「あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」(ルカ 23:42)

イエスは答えられました、

「まことに、まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」(ルカ 23:43)

それがこのハデスです。彼はそのことを指しています。ハデスの反対側は、楽園で、間には大きな裂け目があり、ハデス側は苦痛です。この記述には、苦痛の側にいる金持ちが、楽園の側にいるアブラハムに泣き叫び、ラザロを送って指先を水に浸し、苦痛の炎から舌を冷やして下さるよう懇願しています。(ルカ 16:24 参照)

アブラハムは彼に対し答えます。「両側の間には大きな淵があり、そちらへ行きたくても行けず、こちらに来たくても行けません。」(ルカ 16:26 参照)

そして彼はアブラハムに、この苦痛の側が実在することを証言するため、ラザロを5人の兄弟のもとに送り、彼らが悔い改めるようにと懇願します。(ルカ 16:27-28 参照)

しかし、アブラハムは呆気にとられるほど簡単に断り、その理由を説明します。

—ルカ 16:31—

アブラハム彼に言った。『モーセと預言者たちに耳を傾けないのなら、たとえ、だれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』

わお～ つまり、ここはイエスが降りられた場所、ハデス（よみ）です。

そしてその間、これらの霊、悪魔に説教をされました。

「お前たちはもう終わりだ。完了した。(ヨハネ 19:30) わたしがお前たちを打ち負かした。わたしは死を打ち破った。そしてイエスは、パラダイス側に、「行こう。」と仰います。主は彼らを共に連れて行かれ、よみからパラダイスへ解放されます。「ヨハネの黙示録 1 章 17~18 節」で、使徒ヨハネがいくつかの空白を埋めます。私はこれが大好きで、これを含めたいのは、彼がイエスを見たとき、どんな反応だったかが記されているからです。これはヨハネの話です。空っぽの墓に向かって、ペテロより早く着いた同じヨハネですよ。これは、福音書で自分がイエスに愛された弟子であることを、書くように靈感を与えられいつも注意深く記したのと同じヨハネです。彼に聞いてみてください。主はすべての弟子たちを愛しておられました。しかし公平に見て、使徒ヨハネは、愛の使徒として知られています。愛すべき人物です。さて、イエスを見たときの彼の反応はどうだったでしょう？ 彼は死んだように主の足元に倒れます。そして、イエスのご反応は？ 主は右手を彼に置き仰られました。

「恐れることはない。」(黙示録 1:17 参照)

お~これが優しい救世主です。

#### 一黙示録 1:17-

「わたしは初めであり、終わりであり、(アルファであり、オメガである)

#### 一黙示録 1:18-

生きている者である。わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。(アーメン) また、死とよみの鍵を持っている。

「ほ~あなたは、鍵を持っておられるのですか？」はい。誰かが鍵を持っていると、何が起こるかという、ドアの所へ来て、鍵がかかっていたら、「お退きなさい。」で、鍵を出します。「お~あなたは鍵を持っての？」ええ、持ってます。「ほ~どうしたら手に入るの？」「いや、私のように重要な人物でないと、鍵は手に入りません。権威がなければなりません。」

イエスは仰いました。「権威が与えられています。」主はよみと死の鍵を持っておられます。ですから、あなたを押しつぶす罪の束縛から、あなたを解放して下さいます。しかし、私たちは罪の罪悪感を対処せねばなりません。あえて言うならば、ある意味、罪の罪悪感は、罪の束縛よりも圧迫感があると思います。私の話の行き先は、「ローマ人への手紙 6 章」、パウロはこう言います。

「それゆえ、今や罪はもはや私(あなたがた)を支配することはありません。」何を言ってるのですか？

「もう罪の支配がなくなったから、罪のない人になるんですか？」違います。

「もう誘惑はない？ 誘惑の罪がないと言っているの？」いいえ、そんなはずはありません。イエスは誘惑されました。罪のないお方だったのに。ですから、誘惑が罪であるということはありません。罪に縛られることはあり得ないのです。罪がパウロを支配していないとは、どういう意味でしょう？ 罪の罪悪感です。それが、敵が私たちを非難し続けるため私たちの人生に構築する罪悪感のインフラです。そういう状況下では、最善なこともなかなか立ち行きません。だから、それは、ペテロはこれを知っていて、ペテロはそうすべきです。罪の重さを知っている人がいるとすれば、それは主を否定したペテロでしょう。自責の念と罪悪感、非難を想像できますか？ イエスが彼を回復させられるまで、彼は押しつぶされそうになっていたに違いありません。ここの 20 節の後半と 21 節は、ちょっと難しいのですが、ペテロがキリストの十字架刑と苦しみから、よみに降られ悪魔と死に対する勝利を説き、捕虜を天国側に解放しました。そして今度はノアとの大洪水の話に戻ります。私はむち打ち症になりました。皆さん、どうです



か？ わお～（こっち）、わお～（あっち）！？ OK。ペテロ、一体どうしたというの？ ええ、これは良いことです。一読して、理解するのは難しいですが、しかしよくよく考えてみると、それは励ましと同じくらいシンプルなものであることに気づきます。ノアとその家族が、洪水の水で取り去られたように、バプテスマの予型として、私たちにも当てはまります。というわけで、21 節を見逃さないようにお願いします。ペテロが言っていることに注目してください。彼は、イエスが神に対する私たちの罪の罪悪感を取り除いて下さると言うのです。私たちを罪のない存在になさるわけではありません。主は、誘惑から私たちを逃されるわけではありません。そうではなく、主は私たちを押し潰す罪悪感を取り除いて下さるのです。あなたが、疲れて重荷になるのも無理はありません。あなたは、罪の罪悪感と重荷で疲れていて、イエスが取り除いて下さるのです。なぜ、まだ背負っているのですか？ 主はそれを引き受けてくださいました。なぜ、それに支配されているのですか？ なぜ、それをそのままにさせておくのですか？ なぜ、それに押しつぶされてしまうのですか？ なぜ私は叫んでいるのでしょうか？ わかりません！  
—爆笑— 私の賜物です。贈り物なのです。これは人生を変えるほどのものだから、ぜひとも手に入れてほしいですね。したがって、今これは、再び、ローマ人への手紙 8 章です。

ちなみに、今が一番いい時かもしれませんが、もう一度言います。あなたが悩んでいるなら、ローマ人への手紙 8 章に時間を費やして下さい。つまり、6 章に戻りたいなら、それでいいんですけど、「はじめな者よ、だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」（ローマ 7：24 参照）

そして、7 章に感謝します。そのころには、なんとなく一息つけるようになっています。でも 8 章まで来ると、ほ～もう大丈夫です。あなたがたはよろしくありません。しかし、大丈夫です。神が良いお方だからです。

#### —ローマ 8：1—

**こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。**

（罪悪感なし）なぜ？ 主が取り除いてくださったからです。どうやって主は取り除かれたの？ ノアとその家族が洪水で取り除かれたように、主はあなたの罪の罪悪感を東が西から遠く離れているように取り除かれました。（詩篇 103：12）

そして、聞いてください。主はもうそれらを覚えておられません。私ももう覚えてなければいいのに。実際、私が祈るたび、既に神に許してくださったことで、神は仰います。

「そのことはすっかり忘れていました。今、あなたはそれをわたしに思い出させました。だからわたしは再びあなたを赦さないといけません。蒸し返すのはやめなさい。—(笑)— わたしはそれを取り除きましたから。」

木曜日の夜、エレミア書で再びこのことを学びました。私がエレミアを愛しているのは話しました？ とにかく、罪と罪悪感を取り除く話で、それは古い契約（旧約）でしたが、これは新しい契約（新約）です。彼は、バビロンへ捕囚されようとしているユダの人々に希望を与えたいと考えています。そこで 70 年間を過ごすことになるのです。多くの人は戻ってこないでしょう。彼らはバビロンで死ぬのです。彼らの子どもたちもそうかもしれない。しかし、彼は先に彼らを励まして、あなたには未来がある、と言いたいのです。

「わたしはあなたを見捨てません。わたしはあなたを終わらせません。わたしのあなたへの計画は、悪ではなく、善の計画なのです。あなたには未来の計画があるのです。そして、わたしには新しい契約があり

ます。新約です。お～、古い契約（旧約）はどうなんですか？ お～成就しています。旧約をなくすのではありません。新約が旧約を成就します。旧約は新約における成就を指し示します。旧約を見てください、ヘブライ語でカファール＝カバー/覆いしかできませんでした。せいぜい罪が覆われるだけで、取り除けるわけではありません。主の血による新約。

「あなたがたの罪が緋のように赤くても、...」（イザヤ 1：18 参照）

たぶん全員が手を挙げるのではないのでしょうか。隣の人を見ないでください。誰しものが罪びとですからね。「...雪のように白くなる。」血には力があります。それが新しい契約の血です。聖餐の食卓を共にするたびに、新しい契約の血潮です。ただ覆うだけではありません。これを覆うなら、一時的なものであり、気休めでしかありません。ボトルに（気休めと）書いてある通りです。いいえ、これは永遠に続きます。覆うだけではありません。新しい契約は、わたしが取り除きます。ですから、なぜそれを蒸し返すのですか？ なぜそれを蒸し返すのですか？ なぜそれを背負うのですか？ なぜ、あなたの人生で、敵がそれをするのを許すのですか？ なぜなら、敵はあなたとイエスの間に距離を置かせようと、あらゆることをし、手段を選ばないことを理解しなければなりません。そう、あなたが救われる前は、彼はあなたをイエスから遠ざけるため、あらゆる手を尽くします。そして、あなたが救われたら、敵は再編成せねばなりません。そして、あなたが救われた今、敵はあなたとイエスの間に隔たりを作る方法を考えねばならないのです。敵の最も強力なツールは、落胆と罪の罪悪感の重圧です。ちなみにこんな感じです。こう言えば、よくわかると思います。あなたが失敗するとします。罪のない人なら、誰か罪のない人います？ 誰も手を挙げないでね？ ですから、失敗し、罪を犯すとします。そして、敵はすぐそこにいますよね。つまり、敵はポップコーンを持って、ライブ配信します。敵はすでにそれをレンタルし、代金を支払っています。それで敵はあなたを椅子に座らせ、ポップコーンを持って、さあ見よう.....

「これはホラー映画だ。これがあなたがしたことだ。そしてあなたはこれを見ながら思います。「ああ、これはひどい。」「そう、本当にひどい。僕にはわからないね。僕が今のあなたなら、ただひたすら身を隠すだろうね。僕なら、主のもとには行かないね。もう終わりさ。隣の席の人があなたの行動を知っていたらと思うと、確かに教会には行かないね。」

もう一度言いますが、隣の人を見てはいけませんよ。-(笑)- 「もし人が、あなたが何をしたかを知っていたら。ほ～！！ほ～！！だって、ロコだから。ほ～！！」-(笑)- 敵は大きな成功を収めたのではないですか？ 敵はただ私たちを非難し、「有罪、有罪、有罪！自分がしたことを見てみる！！」

答え：イエスがなされたことを見てください。

「いいえ、主はその代償を支払われました。」「いや、お前が払うんだ！」「いいえ、既に全額支払われています。イエス・キリストの血潮によって、封印され全額支払われました。私の前から消え失せろ。通りの向こうに行ってしまう。行き先を教えるから。」-(笑)-

それはまずいですね。そんなことをしてはいけません。それで一度、トラブルになったことがあるんです。最後は、22 節です。ああ、これは.....「イエスが全ての権威があられる」そう、OK。それはわかっています。つまり、だから何？ 言いましょ。主は全能で、主にすべての権威があられ、すべてが主に服従しています。さて、それは私にとってどんな意味があるのか？ 私にとっての意味はこうです。

神はすべてをご支配し、すべてを治められる。以上。

そう、今は御父の右の座におられ、ハデスに下られ、そして天に上られたのです。ちなみに、主は執り成し下さっています。「わたしが引き受けます。」イエスがあなたのために祈って下さっているのを理解し

ていますか？「あなたのために祈っています。」と人に言われると、こう言います。「感謝します。とてもうれしいです。」でも、もしイエスが私のために祈ってくださっているのなら、

「イエスが私のために祈って下さってる！！ 聖霊が私のためにとりなして下さってる！」

しかし、すべては主の権威下です。もう一步踏み込んでみましょう。まず主がお許しにならない限り、あなたに起こることは何もありません。それを説明させてください。敵があなたに知られたくないことがもう1つあるからです。悪魔は、神がお許しにならない限り、あなたに何もすることができません。そして神は、最初にお許しにならない限り、敵があなたに何かをすることを決して許されません。そして、私たちの益と神のご栄光のためでない限り、決して許可されません。ヨブに聞いてください。ヨブに聞かないでください。私たちは、ヨブ書を学び通しました。私たちは手に入れるべきです。第一礼拝で触れましたが、

「私たちは、ヤコブを節ごとに学び抜いた！」という T シャツを手に入れるべきです。でもヨブ、ヨブ書を生き延びたから、T シャツと帽子を手に入れるべきですよ。試練だったんです。あの書は。一緒にそれを経験した人たち、「おお～、おお～、おお～1章、初っ端からです。サタンがぶらぶらしていて、彼はまだ天国へアクセスできます。だから新天新地になるのです。サタンが何をしていたかは神はご存知です。だから、主は仰います。

「おい、サタン、元気か？」

「ええ、元気です。地上を行ったり来たりして、ぶらぶらしていました。」(ヨブ 1:7)

神は仰います。「なあ、わたしのしもべヨブに目を留めたか？」

「ああ、神よ、よくぞ聞いて下さいました。神よ、そうもちろん、彼はしもべとしてとても忠実です。もちろん、彼はあなたに仕え、あなたを崇拜しています。もちろん、彼はあなたを愛しています。ご覧ください。あなたがどれほど彼を祝福しておられるか。あなたが私に任せて下さったら、彼は面と向かってあなたを呪うでしょう。」

神は「いいだろう。任せる。」可哀そうなヨブ。彼は何が起こるか知りません。ペテロのことを考えます。イエスがペテロに仰った時を考えてください。「さあ、ペテロ、こっちへ来なさい、話があります。」

「私は何かしましたか？」「あ～今回は本当にやってくれましたね。

ペテロよ、だからサタンはあなたを小麦のようにふるいにかける許可を求めました。」(ルカ 22:31)

私がペテロなら、どうやらペテロの代弁者ですからね。

「主よ、あなたはダメだと仰いましたよね？」

「いや実は、わたしは許可しました。なぜなら、最終的に、あなたのためになり、わたしの栄光のためになるからです。わたしにすべての権限がありますから。」

ですから、神はそうでなければ、あなたに起こる事をお許しになりません。あなたは地上の親として、祖父母として考えてください。自分の力の範囲、可能な範囲で、子どもに何か起こるのを許しませんか？

ええ、昨日のことにように思い出しますが、娘が帰宅して、6歳か7歳の頃です。娘は言いました。

「あの子が凄く意地悪したの。」「その子の名前は？」—(笑)— 私がその子を見つけ出し、その子は大変危険な目に遭うだろうね！」—(笑)—

私はダメな親ですよ。どれほど私たちの天の御父は・・・やりすぎですか？ たぶん、そうだと思います。私は落ちこぼれの親です。主は私たちの天の御父です。主が最初にお許しにならない限り、私たちの頭髮さえ一本も地に落ちません。主は私の髪に、多く落ちる権限を与えられました。—(笑)— 床一面に散ら

ばったから掃き集めないと。-(笑)- これはやりすぎかもしれませんね。-(笑)- でも、それだけで励みになりませんか？ 私は本当に苦しんでいます。神が許可したとでも言いたいのですか？ ええ。よろしくありませんが。なぜ神はこのような苦しみをお許しになられたのでしょうか？ ああ、もしあなたが知っていれば。もし、あなたが知ってさえいたら、最後にどうなるか、ヨブに聞いてください。この全てを通して、ヨブは神を呪いません。おお、ペテロ。最後は、彼は兄弟を導きます。彼は改宗し、彼の兄弟たちは改宗しました。彼は主と密になり、彼は主にあって強くなったのです。しかし、彼はそのふるいかけられねばならなかった。ヨブはその信じられないような苦しみを経験せねばならなかった。ちなみに神は、どこが限界なのか知っておられましたよ。そして、私たちは、もしかしたら.....どう言えばいいのでしょうか？「第一コリント人への手紙 10 章 13 節」で、私たちはそれをあまりに決まり文句にしてしまいました。神は、あなたが扱えない以上の試練に決して合わされることはありません。

「あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。」

主はそれを許され、許可されます。しかし、もしあなたが、主が本当にご用意され、署名し何をお許しになられているのか知ってさえいけば。私はこのように考えます。これは、私にとって非常に大きな励みとなったので、皆さんの励みになればと思います。これで締めくくります。

神が知っておられる事を自分が知っていたら、私が自分の祈りに答えるのと全く同じ様には、神は、私の祈りに答えてくださらないとは決して思わないでください。

ですから、主は初めから終わりまで知っておられます。主は全知全能で、主は偏在され、永遠で、全能であります。ですから、主は既に終わりをご存じです。実に私は時に、自分の頭の中で考えることがあります。このような考え方をする人のことに臨床名があるのでしょうか、私は祈るとき、神が「ノー。ダメダメ。」と仰っているように思います。

「あなたは、わたしがその祈りに答えることを望まないでしょう。それは良くないことで、わたしに栄光をもたらさないからです。もしわたしがそれに答えたら、、、」

あなたは何度自分の祈りリストを見返して、祈った通りに祈りが答えられなかったことを神に感謝したことがありますか？ もし、あなたが祈ったとおりに主がその祈りに答えておられたら、破滅的になっていたでしょう。神はそれをご存知だと思いませんか？ だから、主はそれをお認めにならなかったのです。だから、神はそれをお許しにならなかったのです。主は良いことを惜しまれません。

「すべての良い贈り物と完全な贈り物は、上の父から来る。」(ヤコブ 1:17 参照)

良いものであれば、あなたは手にします。良いものであれば、主が認めてくださるのです。主はそれをお許しになられます。ですから、とても辛い思いをしたとき、それを軽んじてはいけないと思います。辛うじて持ちこたえている人がいるのは知っています。私は心を寄せます。ちなみに、私も経験あります。床の上で蹲って、胎児のような体勢になる気持ちも知っています。あなたには無理。つまり、言葉も発せない。むしろ、うめき声です。涙の祈りの方が、言葉での祈りよりも力強い場合があります。つまり、神に泣き叫ぶ。皆さんが知っている以上に、私は何度もその経験をしました。私はあなたに心を寄せます。でも私はあなたを励ましたい。神がご支配しておられます。そして、すべての権威があられ、すべてをお許しになっておられます。あなたは待つのです。神が何をなさるのか見るのです。

最後にもう 1 つ。これで最後の締めくくりです。初代教会のクリスチャンたちが、動物の死骸に入れられ、獅子の巣に投げ込まれ、生きのまま食い殺された話をしましょう。また、カエサル・ネロがクリスチ

ャンをタールに浸し、火をつけ、戦車を乗り回し『おまえたちは世の光だ〜』と嘲って、生きたまま焼かれたのはどうでしょう。この中の一人を、日曜日にここでゲストスピーカーとして呼べたらいいのに。それって凄くカッコいいですね。

「ゲストスピーカーを発表します。今日は特別なゲストをお招きしています。2000年前から戻ってきて、その苦しみを証してくれます。」

何を話してくれるのでしょうか。何を言うのでしょうか。皆さんにとって励みになると思いますか？ 彼らはあなたを励ましてくれると思いますか？ あなたが経験していることについて、全く新しい視点を与えてくれると思いますか？ 間違いありません。

カポノ、上がってきてください。お立ちください。祈りと賛美で締めくくります。

愛する天の御父よ。もう一度、私たちはあなたに畏敬の念を抱きます。畏敬の念を抱きます、神よ。本当に、あなたは壮大なお方です。

主よ、感謝します。あなたの御言葉の中にこのような箇所があることに感謝します。励ましを感謝します。

主よ、本当に苦しんで、傷ついて、疲れて、重荷を負っている人が、ああ、私は、彼らができるだけ早くあなたのもとへ行くように祈ります。彼らの魂の疲れを、彼らの魂の苦悩を、あなたが癒してくださいませ。イエス様、本当に感謝します。私たちはあなたをとっても愛しています。イエス様。私たちはあなたをとっても愛しています。イエスの御名によって。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7